

16. LUTS に対する八味地黄丸と 牛車腎気丸の効果の比較

獨協医科大学越谷病院

○八木 宏、下村 之人、鈴木 啓介、岩端 威之
定岡 侑子、小林 知広、慎 武、佐藤 両
西尾 浩二郎、芦沢 好夫、新井 学、宋 成浩
岡田 弘

【目的】治療抵抗性LUTSの治療は一般的に困難で、持続する症状のためQOLが損なわれる。今回、抗コリン剤や $\alpha 1$ 阻害剤で十分にLUTSが改善しない症例に対して八味地黄丸もしくは牛車腎気丸の追加投与を行い、LUTS改善効果を検討したので報告する。

【対象と方法】2012年5月から2015年5月までに当科を受診、3か月以上の前治療でIPSS ≥ 8 のLUTSが残存した患者のうち、東洋医学的所見にて腎虚と診断した80例を対象とした。無作為に八味地黄丸群40例、牛車腎気丸群40例に割り付けて12週間投与した。投与前後にIPSS、QOLスコア、影響度スコア、UFM、尿中8-OHdGによる評価を行い比較検討した。

【結果】IPSSは両群とも有意に改善、尿中8-OHdGによる酸化ストレスの改善は八味地黄丸群のみに認められた。

【結論】短期間の検討ながら腎虚のLUTSに対する八味地黄丸及び牛車腎気丸の効果が示唆された。今後も症例を積み重ねて検討していきたい。抗コリン剤や $\alpha 1$ 阻害剤に抵抗性を示す夜間頻尿患者に牛車腎気丸を処方した30症例を対象として、治療前後のIPSS、IPSS-QOL、BII score、UFM、尿中8-OHdG、排尿日誌及びhANPを調査して牛車腎気丸の排尿や睡眠に与える効果を評価した。IPSS、IPSS-QOL、BII score、夜間排尿回数、NPIが有意に改善し、抗コリン剤や $\alpha 1$ 阻害剤に抵抗性を示す夜間頻尿患者に対して、和漢診療学的腎虚の徴候を認めれば牛車腎気丸が排尿と睡眠に関して短期間評価ながら改善する事を示した。今後、牛車腎気丸の長期投与の治療効果を排尿障害治療薬、ならびに抗加齢薬としての側面からも評価する必要がある。